

電気事業法施行規則第五十二条の二第一号口の要件等に関する告示第一条の事業用電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務に従事した期間の確認に係る運用について（令和6年〇月〇日付け2024〇〇〇〇保局第〇号）3に定める事項の記載要領

実務経歴

○注意事項

1. 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
2. ニ以上の勤務先の実務経歴を要する場合は、各勤務先の実務経歴証明書を作成すること。
3. なお証明人として所在地及び名称並びに役職名を記載し、証明年月日も記入して下さい。
証明書が、2枚以上にわたるときは、用紙相互間に証明人の割印をすること。

○記載例

(ふりがな) 氏 名	戸籍のとおり記載すること	生年月日	年 月 日生 (元号は略称記号を用いないこと)
本 籍	戸籍のとおり、都道府県名のみ記載すること		
現 住 所	郵便番号、住居表示（マンション、アパート等の集合住宅の場合は建物の名称、棟・号まで明記） (TEL E-Mail)		
勤務先および 役 職 名	勤務先の名称及びその事業場での役職名を記入してください。ただし、すでに退職した勤務先から証明を受ける場合には、記入する必要はありません。 ※特段の事情があり記載が難しい場合は提出先の産業保安監督部に個別にご相談ください。 (TEL)		

略 歴

期 間			役職名	職 務 の 内 容	電気工作物の概要
自	至	年数			
①電気管理技術者又は保安業務従事者の補助者として実務に従事した場合					
令和 元年 4月	令和 7年 8月	6年 5月	〇〇電気 管理事務 所 検査補助 者	〇〇電気管理事務所が電気事業法施行規則第52条第2項の規定により契約を締結した事業場の電気管理技術者の補助者として電気保安管理業務の補助業務に従事した。	名称 〇〇(株)〇〇工場 所在地 〇〇〇〇〇〇 需要設備 電圧 6.6kV 最大電力 120kW
令和 元年 4月	令和 7年 8月	6年 5月	〇〇協会 〇〇支店 検査補助 者	〇〇協会が電気事業法施行規則第52条第2項の規定により契約を締結した事業場の保安業務従事者の補助者として電	名称 〇〇(株)〇〇ビル 所在地 〇〇〇〇〇〇

				気保安管理業務の補助業務に従事した。	需要設備 電圧 6.6kV 最大電力 150kW
--	--	--	--	--------------------	--------------------------------

②選任された電気主任技術者として実務に従事した場合

令和元年4月	令和7年8月	6年5月	〇〇〇(株) 〇〇工場 動力課長 ・電気主任技術者	<p>〇〇工場の電気主任技術者として選任され、当社の定める保安規程に基づき右記電気工作物の工事、維持及び運用の業務に従事した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常、月次及び年次点検業務 ・どのような頻度（毎日、月1等） ・どのような点検（目視、点検等） ・どのような立場で（作業員、検査責任者等） 	<p>名称 〇〇(株)〇〇工場</p> <p>所在地 〇〇〇〇〇〇</p> <p>変電所 電圧 154kV 容量 50,000kVA</p> <p>需要設備 電圧 6.6kV 最大電力 1,000kW</p>
令和元年4月	令和7年8月	6年5月	〇〇〇(株) △△ビル 事業所 所長・電気主任技術者	<p>△△(株)（設置者）△△ビルの電気主任技術者として選任され、△△(株)の定める保安規程及び△△(株)と〇〇(株)（ビルメンテナンス会社）との間に締結されたビル管理委託契約に基づき右記電気工作物の工事、維持及び運用の業務に従事した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常、月次及び年次点検業務 ・どのような頻度（毎日、月1等） ・どのような点検（目視、点検等） ・どのような立場で（作業員、検査責任者等） 	<p>名称 △△(株)△△ビル</p> <p>所在地 △△△△△△△</p> <p>需要設備 電圧 22kV 最大電力 9,000kW</p>

③選任された電気主任技術者の下で実務に従事した場合

令和元年4月	令和7年8月	6年5月	〇〇〇(株) 〇〇工場 動力課 電気係長	<p>〇〇工場の電気主任技術者〇〇〇〇（氏名を必ず記載のこと。期間中2名以上の電気主任技術者が選任されていた場合には、期間ごとの氏名を記載すること。）の下で、当社の定める保安規程に基づき右記電気工作物の工事、維持及び運用の業務に従事した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常、月次及び年次点検業務 ・どのような頻度（毎日、月1等） ・どのような点検（目視、点検等） ・どのような立場で（作業員、検査責任者等） 	<p>名称 〇〇(株)〇〇工場</p> <p>所在地 〇〇〇〇〇〇</p> <p>変電所 電圧 154kV 容量 50,000kVA</p> <p>需要設備 電圧 6.6kV 最大電力 1,000kW</p>
令和元年4月	令和7年8月	6年5月	〇〇〇(株) △△ビル 事業所 設備係員	<p>△△(株)（設置者）△△ビルの電気主任技術者〇〇〇〇（氏名を必ず記載のこと。期間中2名以上の電気主任技術者が選任されていた場合には、期間ごとの氏名を記載すること。）の下で、ビル管理委託契約に基づくビルメンテナンス会社〇〇(株)の社員として、△△(株)の定める保安規</p>	<p>名称 △△(株)△△ビル</p> <p>所在地 △△△△△△△</p> <p>需要設備 電圧 22kV 最大電力 9,000kW</p>

				程に基づき右記電気工作物の工事、維持及び運用の業務に従事した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常、月次及び年次点検業務 ・ どのような頻度（毎日、月1等） ・ どのような点検（目視、点検等） ・ どのような立場で（作業員、検査責任者等） 	
④電気工事業者又は電気工事業者の従業者として実務に従事した場合					
令和元年4月	令和7年8月	6年5月	□□電気工事(株) □□支店 工事課長	□□電気工事(株)が請け負った別紙の電気工作物の工事施工業務に従事した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ どのような業務（設計、工事、検査） ・ どのような頻度（毎日、月1等） ・ どのような点検（目視、点検等） ・ どのような立場で（作業員、検査責任者等） 	別紙のとおり
令和〇年〇月	令和〇年〇月	〇年〇月	免状取得前	〇年〇月	
令和〇年〇月	令和〇年〇月	〇年〇月	免状取得後	〇年〇月	
			合計	実務経験年数 〇年〇月	

上記の実務経験を有することを証明する。

令和〇〇年〇〇月〇〇日
住所 〇〇県〇〇市〇〇4-5-16
証明 人 〇〇〇〇株式会社
代表取締役社長 〇〇〇〇

備考1. 用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

備考2. 上記の証明による証明において、電子署名その他のデジタル技術の活用は妨げられない。

工事工程一覧

○注意事項

1. 「工事工程一覧」は、工事件名ごとに作成して下さい。
2. 工事工程期間「着工から竣工」及び申請者の実務期間「開始から終了」を記入して下さい。
3. 工事工期と、申請者が実務に従事した期間を矢印等で記入して下さい。また、対象となる期間と対象外の期間とで線種を変える等、明確にして下さい。
4. 業務内容の各項目は、実務経歴証明書の「職務の内容」と整合を取り、主な業務の内容を箇条書きで記入して下さい。
5. 実質期間（日数等）については、休日や工程期間が重複するものを除外して算出して下さい。

○工事工程一覧の記載例

工事工程一覧		工事件名 ○○○○新築工事		令和3年																															期間
項目																																			
		8月 9月 10月 11月																																	
着工	竣工																																		
建築工事行程	令和3年8月1日～ 開始	令和3年11月11日 終了	←-----→																															103日	
申請者従事期間	令和3年9月1日～	令和3年11月11日	←-----→																															72日	
業務内容																																			
1. 設計業務	<ul style="list-style-type: none"> 設計図面、仕様書の検討確認 施工行程、機器資材発注時期の調整 搬入、仮設、試験、自主検査、使用前検査計画の立案 経済局、電力会社打合せ、申請手続き 受電関係事項関係官公庁打合せ、申請手続き 																															6日			
2. 工事施工業務	<ul style="list-style-type: none"> 打合せ(発注者、携家、電気主任技術者、メーカー) 施工方法の検討、指導 受入検査の実施 機器搬入、据付けの施工管理 電源引き込み関連作業の施工管理 測定、試験、社内検査、使用前自主検査の準備と実施 受電関連作業(本設/仮設切り替え、設備送電) 																															6日 7日 2日 2日 4日 10日 3日 2日			
3. 維持運用・引き渡し	<ul style="list-style-type: none"> 完成図書、検査データの作成 保守員への運転・管理の説明と実技指導 																															2日			
合計 (実務経歴実質期間)																																48日			

※工程が重複しているものは算定日数から除外している。